

# 生徒と考えたい！ 地球の気もち

～ 専門員と学ぶ  
大地と人のイイ関係 ～

令和2年2月 M中学校での授業のひとつ

## 萩ジオパーク推進協議会



ポスター制作：藤田尚子

(萩ジオな教育推進委員・萩ジオマスター・  
萩ジオプランナー・萩ジオガイド・大地の遊び人)

萩ジオパーク推進協議会に、白井孝明専門員が着任して5年目になります。着任して初めてのミニ講話を聞いたときに「ぜひ生徒たちにも聞かせたい」と思い、毎年、出前授業をお願いしています。白井専門員と学ぶ「地球目線」の授業をご紹介します。



3.11 を体験したときの話をしてください。

平成29年2月 M中学校 3年生9名



具体物を用いてイメージしやすく！



3.11 を体験したときの話と「地球目線」の話をお願いします。

平成30年2月 M中学校 3年生6名



生徒の暮らしている地域の自然をうまく利用しているなどと思う「人の暮らし」について、事前に聞いておいてください。

体を使って、ゆれの長さを体感！



3.11 を体験したときの話と「地球目線」の話をお願いします。

令和2年2月 M中学校 3年生6名

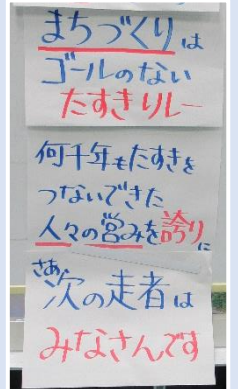


3年目は、「小さな発見」の話から授業が始まりました。糸を使って「生物のつながり」も体感し、大地-ヒト-生物がそれぞれ関係しあったものであることを、より深く考える機会となりました。



次年度のふるさと学習のヒントになる、新しい視点で地域を見直すことのできるような授業をお願いします。

令和2年2月 M中学校 2年生12名・1年生6名

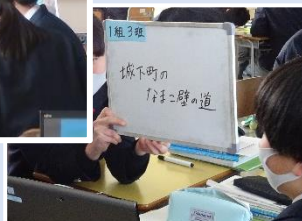


「なぜ学ぶのか」「どんな大人になってほしいのか」のヒントにしてほしいと考えて、これまでは、卒業する3年生の授業をお願いしていました。が、1年生、2年生にも、「この地で暮らす」ということを考える授業もお願いしました。生徒へのお題は、「100年住める村をつくろう」です。地形図と初めて見る地質図も使って、グループワークをしました。



ジオツアーの締めくくりに行っている話を聞いて生徒にも考えさせたいと思っています。今回は、クラス数も生徒数も多いけれど、いにかしら？

令和3年2月 H中学校 3年生92名



3教室 18グループの、オンラインでやってみましょう！！



「自然環境と人間」をテーマに、城下町バーチャルツアー、グループワーク、クイズとてんこ盛りの50分。オンラインものは一方的な情報提供になりがちですが、去年の夏から培ってきたノウハウを生かして、生徒の皆さん自身が主体的に活動できる内容を工夫しました。  
～萩ジオパーク推進協議会ホームページより～

あたりまえのようにある目の前の景色が、地球のさまざまな営みの中で、その自然に寄り添った暮らしから形成されたものであることを、改めて認識する授業となりました。